

令和 7 年 12 月 4 日
愛 媛 大 学

第 7 回復興デザイン会議全国大会「孤立する都市」を開催

第 7 回復興デザイン会議全国大会が、「孤立する都市」をテーマに下記の日程で愛媛県内において開催されます。愛媛大学は今回の地元セッション等の実行委員を務めます。

今回の大会は、令和 6 年能登半島地震を受け災害時の孤立と自立の重要性が浮き彫りになったことを背景に、被災、孤立、都市、集落、人に考えを巡らせながら、「孤立する都市」について議論する場とするものです。12 月 5 日の「復興デザインスタディツアー」では平成 30 年 7 月西日本豪雨からの復興を現地で学び、同 6 日（パフィオうわじま）の「地元セッション」では宇和海沿岸地域における南海トラフ地震えひめ事前復興の小中高校生への「教育」や中高生による防災地理部の活動などを全国へ発信し、同 7 日（愛媛大学メディアホール）の「U30 復興デザインコンペ」では一次審査を通過した 14 組のコンペ作品の最終審査と表彰が行われます。

本会は、一般の方も含めて参加自由です。自然災害からの防災と復興に関わる建設・建築・都市計画等の技術者と学識者はもちろん、小中高校生・大学生の若者が集う場でもあります。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

■ 日 時：2025 年 12 月 5 日（金）～12 月 7 日（日）

■ 会 場：パフィオうわじま、愛媛大学メディアホールなど

■ 主 催：復興デザイン会議

■ 主なプログラム：

12 月 5 日（金） 復興デザインスタディツアー

12 月 6 日（土）9:45 開会 パフィオうわじま

9:50 – 11:00 事前の集団移転事業はどのように成立するか？

11:15 – 12:15 基調講演

13:15 – 14:45 南海トラフ地震えひめ事前復興の小中高校生への「教育」の取り組み

15:00 – 17:00 次世代が描く地域復興：中高生による防災地理部の活動

12 月 7 日（日）9:00 開会 愛媛大学メディアホール

9:05 – 10:25 復興デザイン各賞 表彰式

10:30 – 12:30 U30 復興デザインコンペ ポスター公開審査・討議

13:20 – 15:30 U30 復興デザインコンペ 最終公開審査・討議

※詳細は、別紙および大会ホームページをご参照ください。

※取材いただける場合は、12 月 5 日（金）までに以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域協働推進機構防災情報研究センター

TEL/FAX：089-927-9021 山本浩司

Mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 3 枚（本紙を含む）

復興デザイン会議 第7回全国大会

「孤立する都市」というテーマで、第7回復興デザイン会議全国大会を開催する。

令和6年能登半島地震を受け、災害時の孤立と自立の重要性が浮き彫りになった。交通インフラの回復には時間がかかるが通信インフラの回復は早く、被災地でもインターネットやSNSを介して瞬時に大量の情報にアクセスできる時代となった。一方で、生活する生身の人間は孤立した地域で、果たしていかに過ごすことができるのだろうか。

もちろん、被災し孤立した地域から新しく自立した地域社会が生まれる可能性もある。また未来を見据えて備えることで、次の循環が生まれるかもしれない。

被災、孤立、都市、集落、人に考えを巡らせながら、「孤立する都市」について、議論したい。

主催

復興デザイン会議


日時・場所

12月5日（金）
復興デザインツアー
（西予市・大洲市）

12月6日（土）
パフィオうわじま
（宇和島市）*

12月7日（日）
愛媛大学
（松山市）*

* オンライン併用



孤立する都市

プログラム

12月6日（土） / パフィオうわじま

開会

9:45-9:50

開会挨拶 大会実行委員長：森脇 亮（愛媛大学）

事前の集団移転事業はどのように成立するか？

9:50-11:00

討議者：井若 和久（徳島大学） 白石 レイ（山口大学）
新宮 圭一（復建調査設計）

コーディネート：荒木 笙子・益邑 明伸・植田 啓太・小関 玲奈

基調講演

11:15-12:15

講演者：安江 雪菜（計画情報研究所・NOTOTO）

南海トラフ地震えひめ事前復興の 小中高校生への「教育」の取り組み

13:15-14:45

討議者：山本 浩司（愛媛大学） 羽藤 英二（東京大学）
黒田 栄太朗（宇和島市立住吉小学校）
山口 恵利（宇和島市立城北中学校）
窪地 育哉（元愛媛県立宇和島東高校、松山東高校）
檜垣 歩夢（愛媛県立南宇和高校） 他

次世代が描く地域復興： 中高生による防災地理部の活動

15:00-17:00

愛媛県立宇和島東高校 愛媛県立大洲高校
愛媛県立大洲農業高校 愛媛県立南宇和高校
愛媛県立八幡浜高校 愛媛県立宇和島南中等教育学校
静岡県立天竜高校

コーディネート：U30・若手 WG

1日目総括 / 全体討議

17:00-17:30

進行：円山 琢也（熊本大学） 山本 浩司（愛媛大学）
浦田 淳司（筑波大学） 他

懇親会

17:45-18:30

1時間程度・有料

12月7日（日） / 愛媛大学

復興デザイン各賞 表彰式

9:05-10:25

祝辞 小川 紀一郎（アジア航測株式会社）

コーディネート：小野悠・須沢栗・萩原拓也・小谷仁務

U30 復興デザインコンペ

10:35-12:30

ポスター公開審査

13:30-15:30

最終審査

審査委員長：乾 久美子

審査委員：浅子 佳英 五十嵐 太郎 岡部 明子 上條 慎司
高橋 一平 羽藤 英二

コーディネート：井本佐保里・中尾俊介・永山悟・多田豊

全体討議

15:45-16:25

進行：円山 琢也（熊本大学）
浦田 淳司（筑波大学） 他

閉会

16:30

閉会挨拶 藤井 照久（復建調査設計株式会社）

12月5日（金） / 復興デザインツアー（西予市・大洲市）

復興デザイン全国大会の開催にあわせて、愛媛県の肱川流域を対象に復興デザインスタディツアーを開催します。

平成30年（2018年）7月の西日本豪雨災害により、愛媛県の野村町（現・西予市）から大洲市にかけての肱川流域は甚大な被害を受けました。これを受け国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」が実施され、令和6年5月末に堤防整備等が完成したことで治水安全度が向上していますが、気候変動の影響等により内水や外水氾濫による水害リスクは依然として存在します。気候変動・人口減少に直面する今、公共交通やサプライチェーンなどの交通ネットワーク、および産業・商業施設や病院といった都市機能のデザインは流域全体の治水事業と連動して行う必要があり、流域内での孤立をいかに防ぐかという視点が重要になるといえるでしょう。流域全体の巡見を通して「肱川流域の暮らしと今」を知ること、今後の肱川流域の治水とまちづくりに何が求められるのか、考え、議論しましょう。

■集合：9時00分（松山空港1階レンタカー受付前） ■解散：17時00分（伊予大洲駅） ■費用：500円を予定（現地集金）

■見学場所：宇和（田んぼダム）、野村ダム、乙亥会館付近、鹿野川ダム、大洲ふれあいパーク、肱川河川防災ステーション

※こちらで手配したバスにより移動します。詳しいルート情報は大会HPを御覧ください（下記掲載）。

※参加申し込みは下記掲載のURLまたはQRコードよりご登録ください。

【CPD 制度】本シンポジウムおよびツアーは、土木学会継続教育（CPD）プログラムに申請中です。

詳細は大会HPを確認ください。

【お問合せ】全国大会についてのお問合せは

<https://forms.gle/kRg9KaH22ZjkKtSTA> からご連絡ください。

【参加申込】<https://forms.gle/ueGdm6x56QcwetGx6>

【大会HP】http://dss.bin.t.u-tokyo.ac.jp/symposium/symposium_2025/



お問合せ



申し込み



大会HP